

2017 年 8 月 1 日

最新型CNC装置「MAZATROL SmoothC」を搭載し、 さらに生産性を向上させた対向 2 スピンドル 2 タレット CNC 旋盤 “DUAL TURN 200”

ヤマザキマザック株式会社(社長:山崎智久、愛知県大口町、TEL:0587-95-1131)は、最新型CNC装置を搭載した中小型部品の加工に最適な対向 2 スピンドル 2 タレットCNC旋盤「DUAL TURN 200」の販売を開始します。

DUAL TURN シリーズは同一能力のスピンドルとタレットを左右対称に配置した構造により、1 台で同クラスの機械 2 台分の加工能力を持つCNC旋盤です。左右のスピンドルでのワーク自動受渡しによる連続加工や異なるワークの左右同時加工により、中小型部品加工の工程集約を小フロアスペースで実現、さらにはバーフィーダーやガントリーローダーなど自動化システムとの組み合わせにより、バー材からの多数個取りなど量産部品の長時間連続加工を実現しています。

今回発表する DUAL TURN 200 は、最新型CNC装置「MAZATROL SmoothC」を新たに搭載したことによる高速制御と高い操作性のほか、熱変位制御機能「サーマルシールド」による高精度加工、メンテナンス機器の集中配置による高い保守性を実現するなど、生産性をさらに向上させています。

高精度な連続加工を実現する DUAL TURN 200 は、世界的に需要の高まる自動車用部品など、中小型部品の量産加工における高効率化に貢献します。



対向 2 スピンドル 2 タレット CNC 旋盤 “DUAL TURN 200”

お問合せ先 : ヤマザキマザック株式会社 経営企画室 広報
TEL:0587-95-6849 www.mazak.jp

掲載されているプレスリリース内容は、報道関係者へ発表した情報の要約です。
ご覧の時点で予告無く情報変更が行われている場合がありますので、あらかじめご了承ください